

第14回 ふるさと名取の歴史展 近年の発掘調査2

— 見えてきた新たな歴史 —



日時

平成24年11月1日(木)～
平成24年12月2日(日)まで
(11月6日・14～16日・20日を除く)
午前9:00～午後5:00

場所

名取市文化会館2F
展示ギャラリー

※入場無料



【教育長あいさつ】

名取市は、県内でも数多くの文化財がある所として知られており、特に東北地方最大規模の古墳として著名な雷神山古墳をはじめとする古墳文化や、本宮・新宮・那智の熊野三社を中心とした熊野信仰に関係する文化財等に大きな特色があります。東日本大震災では、残念ながらこれらの文化財の中にも大きな被害を受けたものもあります。

去年は震災のため開催できませんでしたが、例年 11 月頃に開催してきました「ふるさと名取の歴史展」は、今回で 14 回目を迎えました。今回の展示は、平成 22 年度に開催した歴史展の後編として、「近年の発掘調査 2 ー見えてきた新たな歴史ー」と題し、平安時代以降の発掘調査成果を中心に、出土品や写真パネルなどを通じてご紹介いたします。市内には各時代にわたる多くの遺跡がありますが、遺跡は

地中に埋まっているものが多いため、私達の身近にありながらも、普段の生活の中で直接目にしたり触れたりする機会はあまり多くありません。この展示を通じて多くの皆様に郷土の歴史の一端に触れて頂き、これまで以上に興味や関心をもって頂ければ幸いです。また、震災で被害を受けたり、失われてしまったりした文化財の状況などについても、併せてご紹介いたします。

おわりに、今回の歴史展の開催にあたりまして、ご協力頂きました関係機関の皆様に対しまして厚く御礼申し上げます。

平成 24 年 1 1 月

名取市教育委員会
教育長 丸山 春夫

①【遺跡の発掘調査とは？】

名取市には現在、後期旧石器時代（今から約2万5千年前頃）から江戸時代（今から約150年前頃まで）にかけての遺跡が189ヶ所あります。これらの遺跡は、遺跡台帳に登録されており、その範囲は遺跡地図に載せられています。遺跡は我々の先祖達が遺した生活の痕跡であり、遺構（地面と一体となり、動かさないもの）と遺物（出土品などの動かせるもの）の大きく2つから構成されています。これらの遺跡は、地下に埋もれていることから埋蔵文化財とも呼ばれ、郷土の生い立ちや今日までの先人達の歩みを知る上で、貴重な情報を与えてく

れるかけがえのない文化財の1つです。

こうした遺跡内で工事などを行なう場合には、事前の手続きや、工事で遺跡が失われてしまう前に、「いつ頃の」・「どんなものが」・「どの場所に」・「どのように」・「どれくらい」埋まっているのか？などを確かめるため、必要に応じて実際に地面を掘って詳しい調査を行ない、その結果をまとめた記録を作成します。これらの作業が、遺跡の発掘調査です。

(遺跡台帳)

遺跡番号	遺跡名	よみがな	所在地	立地	種別	時代	地目	出土品
12001	金剛寺貝塚	こんごうじ	高館川上字東金剛寺	丘陵	貝塚	縄文前・後・晩	山林・畑	縄文土器(大木1・宝ヶ峯・金剛寺・大洞 BC~C2)、石斧、石皿、敲石、人骨、犬骨
12002	欠番		(金剛寺西貝塚)					
12003	箕輪A地区古墳群	みのわAちく	高館川上字鴻ノ巣	丘陵	古墳	古墳中	山林・畑	方墳(2基)、前方後方墳(1基)
12004	今熊野遺跡	いまくまの	高館川上字南台・字北台・字鴻ノ巣	丘陵	集落・貝塚	縄文早・前・弥生~平安	畑	縄文土器(日計・大木1・2)、土偶、弥生土器、石包丁、土師器、須恵器
12005	市史跡 熊野堂横穴墓群	くまのどう	高館熊野堂字大門山・五反田	丘陵斜面	横穴墓群	古墳後・奈良	山林	土師器、須恵器、直刀、人骨
12006	市史跡 笠島庵寺跡	かさしま	愛島笠島字西台	丘陵	寺院	奈良・平安	山林・畑	土師器、瓦(平瓦・玉縁付丸瓦)
12007	大木戸貝塚(小豆島貝塚)	おおきど(あずきしま)	名取が丘三丁目	丘陵	貝塚	縄文早	山林・畑	縄文土器(素山2)

市内にある遺跡は、宮城県が作成している遺跡台帳に載せられています。台帳には県内の遺跡の通し番号や、遺跡の名前、所在地や立地、種類、時代や見つかっている出土品などが書かれています。

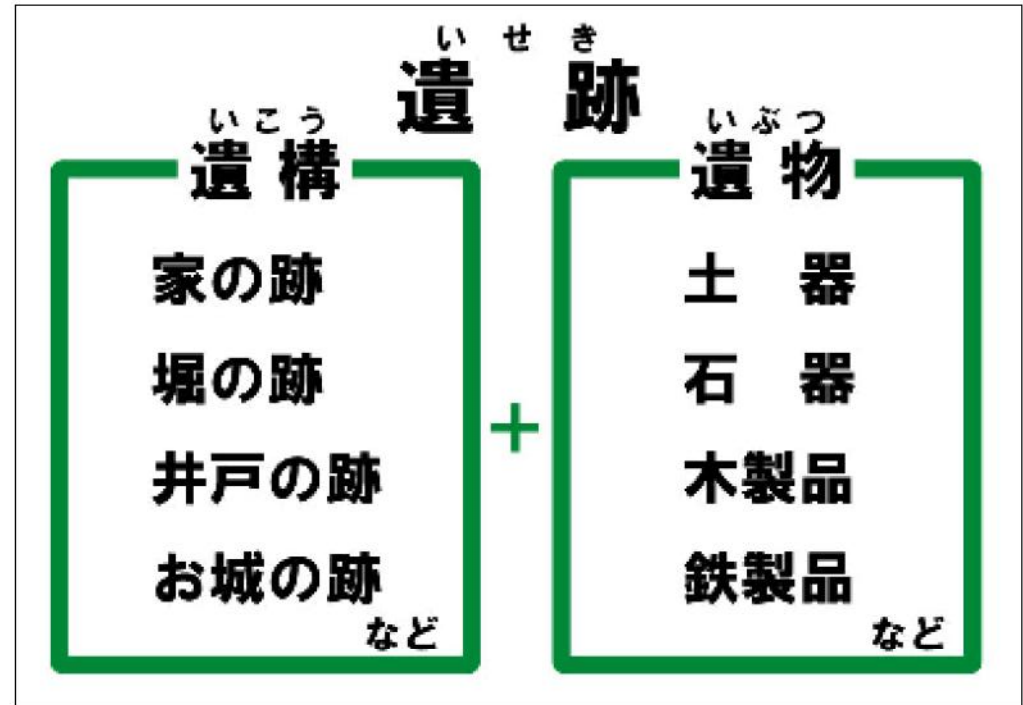
(遺跡地図)

地図中に赤枠で囲まれた範囲が、遺跡の範囲です。地図中には、時代別ではなく、旧石器時代から近世（江戸時代）までの遺跡の範囲が全て記されているので、時代別に見れば遺跡の数はこの地図よりは少なく、また、分布にも各時代の気候や環境などに合わせた特徴が見受けられます。



(遺構と遺物)

遺跡は、遺構と遺物の大きく2つから成り立っています。遺構は、地面と一体となつてその場所から動かすことが出来ないもので、図にあげたもの以外

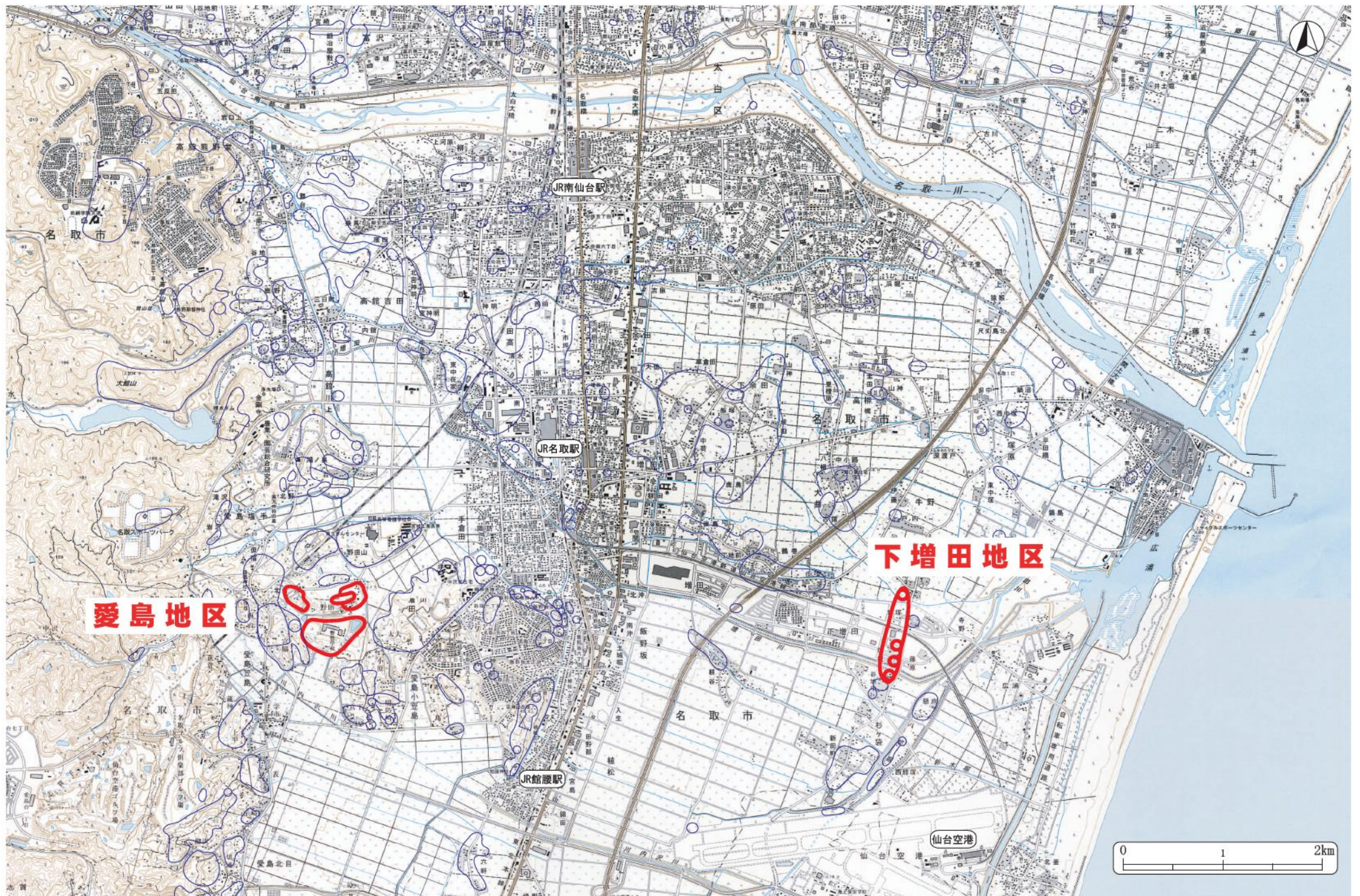


では、建物跡や、古墳をはじめとするお墓の跡なども遺構の一つです。

これに対して遺物は、これらの遺構などから出土したものの全般を指すもので、出土した場所から動かすことが出来ます。図にあげたもの以外では、土製品、石製品、漆製品、布製品など多種多様なものがあります。

②【近年の発掘調査】

これまで市内では、昭和 40 年代頃から多くの発掘調査が行なわれており、様々な遺構や遺物が見つかっています。近年の発掘調査では、平成 13 年度～15 年度に^{めでしま}愛島地区で住宅地を造る工事に先立って行なわれた調査と、平成 16 年度～20 年度に仙台空港鉄道や住宅地を造る工事に先立って下増田地区を中心に行なわれた調査が大規模なもので、多くの新しい発見がありました。前回の展示会と同様に、この 2 カ所の発掘調査で得られた成果を中心にご紹介しますが、今回は、平安時代以降のものを中心にご紹介いたします。



愛島地区と下増田地区の位置

③【時代の流れと主な出来事】

調査の成果を紹介する前に、ここで紹介する発掘調査で分かったことや見つかったものが、いつ頃のものなのかをイメージして頂けるように、これまでの時の流れや主な出来事などについて見てみましょう。この後、皆様に紹介するものが、いつ頃のものか分からなくなったらここへ戻ってチェックしてみてください。

カラーで示した平安時代～大正時代のものが、今回の展示に関係する時代で、解説のパネルもこの色分けで時代が分かるようになっています。

時代の流れと長さ

1. 旧石器時代 (今から13,000年以前)
2. 縄文時代 (約13,000年前～2,300年前)
3. 弥生時代 (約2,300年前～1,800年前)
4. 古墳時代 (約1,800年前～1,500年前)
5. 飛鳥時代 (約1,500年前～1,400年前)
6. 奈良時代 (約1,400年前～1,300年前)
7. 平安時代 (約1,300年前～800年前)
8. 鎌倉時代 (約800年前～650年前)
9. 南北朝時代 (約650年前～600年前)
10. 室町時代 (約600年前～500年前)
11. 戦国時代 (約500年前～400年前)
12. 安土桃山時代
13. 江戸時代 (約400年前～140年前)
14. 明治時代 (約140年前～100年前)
15. 大正時代 (約100年前～85年前)
16. 昭和時代 (約85年前～20年前)
17. 平成

→ 今回の展示で扱う時代

※2～6までは、『第13回 ふるさと名取の歴史展』の際に、とりあげた時代です。

日本や宮城県、市内の主な出来事を記した年表です。
これから写真や図で紹介する各遺跡の発掘調査の成果についても、
どの位前の出来事なのかを確認してみよう！

